



三県合同事務局・スタッフ研修交流会の様子

現在進められている道路運送法の改定によって、多くの問題が発生することとなり、関係者の苦労は大変なものになっています。過去六回の三県合同交流会は、ボランティアさん

七月八日(日)福岡リーセントホテル(福岡市東区)にて、第七回北部九州三県通院送迎事業者研修交流会が、ステツプ福岡の主催で開催されました。

全腎協に要望を提出!!

福祉有償運送の現状を把握して欲しい

第七回
福岡・佐賀・長崎
北部九州三県
研修交流会開催

「医療改革と透析医療のこれから」と題して講演がありました。



午前中は、ステツプ福岡顧問 重松 勝先生より、

交えての研修交流会として開催していましたが、今回は、山積している諸問題を解決するために、三県の事業所同士の情報交換と問題提起の場にしたという考えから、事務局役員・スタッフによる研修交流会という形をとりました。



重松クリニック
重松 勝 先生

透析患者の増加、医療施設や医療スタッフの不足、医療制度の改悪予測など、今後の展望や、そして確実にやってくる透析患者の高齢化への対策が急務だというお話をされました。

全腎協への要望

- ◆ボランティア安全運転講習や福祉有償運送業務の現場を視察をしていただき、現状の実態を把握して欲しい。
- ◆ボランティア講習の補助金は各事業所一律五万円ではなく、登録ボランティア数の割合に応じて金額を設定して欲しい。
- ◆次回の三県合同研修交流会に全腎協の理事に参加していただきたい。

全運転講習の開催準備や助成金についてなどの報告がありました。

「さわやか」は運輸支局や運営協議会へ提出している書類の様式、また送迎車両に装着するマグネットシート及び車内に掲示するネームプレート等、福祉有償運送に義務づけられ、現在実際に使用しているものを参考資料として提示しました。

一方、有償運送と異なる運営を行なっている「ほほえみ五島」は、利用料を受け取らない無償での送迎を実施しており、地域や諸般の条件によっては、「無償運送」で運営することをもっと検討してもいいのではないか?との意見も出され



討論が進んでいくうちに全腎協へいくつかの要望を提出することで各事業所の意見がまとまりました。左記の要望を出すこととし、活発な討議を終了しました。

今後開催する交流会を、従来のボランティア交流会として行うかどうかは、経費・施設等の問題もあり、不定期に開催することになりそうです。

最後に、次回開催団体である「さわやか」の山田理事長から「今後ほとんどの事業所で福祉有償運送の登録が行われます。そこでまた、新たな問題点が出てくると思われまます。それを解決し、円滑な運営を各事業所が行っていくためにも、三県合同の研修会を開催します。来年北九州市でお待ちしています。」との挨拶がありました。盛会裏に閉会となりました。



ことわざ
諺アラ・カルト 城水 黎明

暑い夏に「服の清涼剤になるかどうか判りませんが、
諺について、面白おかしく、気分に書きおろしました。
学問からはなれて、洒落のきもちで！」

ことわざの語源・由来

「ことわざ」は、本来「言(こと) + 業(わざ)」。
「ことわざ」は、言語の技術や言葉の活用をさし、何かの行いを実現させる力を持つ特別な言葉や、実現した行いに根拠や意味を与えるような言葉の意味をしていた。この意味においては、「なぞなぞ」もことわざのひとつで、「唱えごと」はことわざの最も古い形である。
「ことわざ」の漢字「諺」は、「彦」に「くつきり」とした顔の意味があることから、「言」+「彦」で「すつきり」と形よく言いきった言葉。「形よく道理がたつた言葉」という意味になる。

反対の意味を持つことわざ

- ★ 急いては事を仕損ずる
- ★ 善は急げ
- ★ 君子危うきに近寄らず
- ★ 義をみてせざるは勇なきなり
- ★ 石橋を叩いて渡る
- ★ 虎穴に入らずんば虎児を得ず
- ★ 右の頬を打たれたら左の頬を出せ (新約聖書)
- ★ 目には目を、歯には歯を (旧約聖書)


「存知ですか?」ことわざに「続きがあるのを!」

- 井の中の蛙、大海を知らず。
- 井の中の蛙、大海を知らず、されど、天空の深さを知る
- 慌てる乞食は、貰いが少ない。
- 慌てる乞食は、貰いが少ない。
- 慌てる乞食は、貰いが少ない。

- ない。慌てぬ乞食は貰えない。
- 出る杭は打たれる。
- 出る杭は打たれる。出ぬ杭は腐る。出すぎた杭は打たれない。
- 鳴かぬなら殺してしまえ
- 鳴かぬなら
- 鳴かぬなら
- 鳴かしてみせ
- よう子規 (秀吉)
- 鳴かぬなら 鳴くまで待とう 死出田長 (家康)
- 鳴かぬなら 自分で鳴こう 時鳥 (黎明)
- 桃栗三年 柿八年



- 桃栗三年 柿八年 梨の礫 (つぶて) は 十六年
- **ことわざをパロッてみました。**
- 可愛い子には食べさせよ
- 我と来て 遊べや彼氏の無い娘
- リズ見ての後のバートンに比ぶれば昔はものを思はざりけり
- 話が古すぎて済みません。リズとはエリザベス・テラーのこと。バートンはリチャード・バートンのこと。二人が結婚した時の、パロディーです。



黎明流、ことわざの解釈

能面のような顔⇨変化の無い顔

解釈・・・能面は、能を舞うひとの舞で、喜怒哀楽が表現されます。能面は喜怒哀楽を現す凄面です。変化の無い顔などと言ったら、能面士にこっぴどく怒られますぞ。

以上、ことわざの一部を、黎明流に、解釈してみました。面白いですね。一服の納涼剤になったでしょうか?これは、あくまでも城水黎明の独自のことわざです。一般的には通じないものです。洒落の通ずる人のみに、遊びとして、話して下さい。

盂蘭盆会 (うらぼんえ)

葉月といえ、九州ではお盆の行事があります。一般に、お盆と言っています。正式には、盂蘭盆会というようです。盂蘭盆会を百科事典で見ると、次のように記しています。

「サンスクリットのウランバナ (倒懸) の音訳で、七月十五日を中心に死者の霊を祭る行事。インドで夏安居 (げあんご) の終わった日。死者

が受ける逆さずりの苦悩を払うために供養したのが起源。日本では、推古天皇十四年 (六〇六年) の記録が古く、のち先祖供養や祖霊来訪の民族信仰と習合して、現在では各地に種々の行事がある。」

お盆とは、右のような言伝えがあるのですね。

お盆とは、先祖のことを思い、現在自分が存在すること感謝する日ではないでしょうか?我が故郷では、十六日の早朝、精霊船を海に流しま

す。待つてましたと、隠れキリシタンが、その精霊船を拾い、中味を食べます。時の権力が、キリシタン禁令をだし、彼らは生産手段も持たず逃げ回っていました。生産手段の無いキリシタンは、仏教徒の作った物を盗んで生きるしか有りません。キリシタンにとっては、精霊船は年一回の合法的食物ではなかったでしょうか?

(文責 城水黎明)